1968
6 月 号
No. 175
編集兼発行
鮫 川 村
総 務 課
塙町 佐藤印刷所

広報 さめがわ

6月の人口と世帯
人口 7,161(－3)
男 3,567(0)
女 3,594(－3)
世帯数1,239(+9)

福島県一の優良町村に
県町村会が鮫川村を表彰

福島県町村会の定期総会は五月二十日午後一時から福島市国保会館ホールで開かれ、席上県下の優良町村として、鮫川村と川俣町を表彰しました。

鮫川村はこれまで、道路愛護や納税完納や経済更生などの単独事業では県や中央の表彰をいく度か受けましたが、地方公共団体として総合行政の面で表彰されたのは、近年では今度が初めてです。

表彰の対象となった治績はおおむね次のとおりですが、「小成に安んずることなく今後一層の努力をもつて、村民と共に地方自治の実績をあげて行きたい」と石田村長は語りました。

(1)**村政の重点**
「明るく豊かな村民生活」を目ざして各種の事業を積極的に進めており、住民所得の向上と福祉の増大に顕著な業績をおさめている。

(2)**役場事務の改善**
事務の簡素化、住民サービスの徹底を期している。

(3)**農林業生産力の増強**
農構、林構の実施、畜産振興、農林道新設改良、農業後継者の育成、青年の研修など。

(4)**福祉施設の整備**
母子健康センター、保育所診療所の運営、ゴミ共同処理、水道計画など。

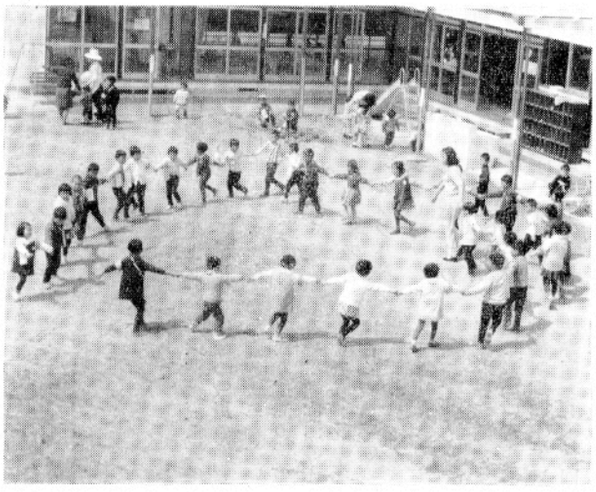
(5)**教育の振興**
統合中学校校舎新築、スクールバス、学校給食センター教員住宅の建設など。

(6)**納税の推進**
昭和三十二年度以降十二ヶ年連続完納

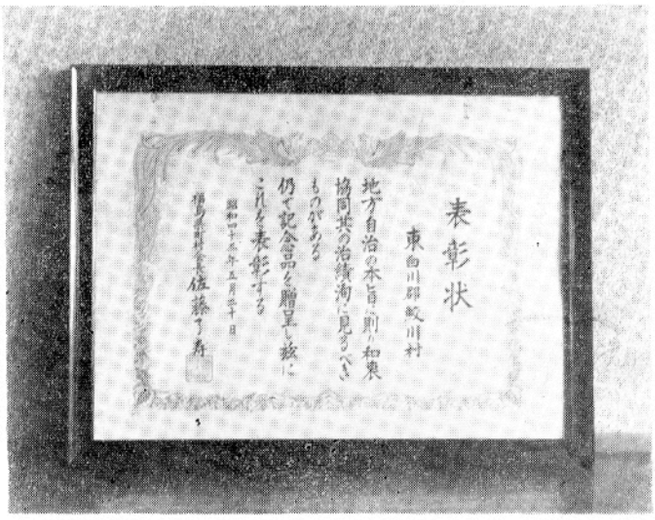
(7)**各種選挙**
投票率毎回おおむね九〇%以上



戸草分校が小高い岡の広々とした校地に、立派に出来上り、5月30日に落成式が行なわれました。大よろこびの分校のお子さんたち。



入所のとき心配された保育所のお子さんたちも、熱心な保母さんの指導ですつかりおとなしくなり、たのしい毎日をおくつています。



人事

六月一日役場の機構がかわり次のとおり人事の異動がありました。

▽総務課長 蛭田 栄
主幹 矢吹 義照
〃 緑川 清幸
主査 高坂 幸男
係員 窪木 義信
〃 斉藤 実
〃 鈴木 俊之
〃(兼)関根 彦孝
▽青戸 学男
高杉タカ子
〃 生田目ハツヨ
〃 斉藤美津江
▽議会事務局長主査 鈴木一
▽農業委員会事務局長
主査 芳賀 栄郎
係員 前田 三郎
▽選挙管理委員会書記長
(兼) 蛭田 栄
係員 関根 彦孝
▽監査委員会(兼)鈴木 俊之
▽教育委員会教育次長
金沢 次男
主査 鈴木 英亮
係員 森 一一
〃 鈴木八重子
▽学校給食センター所長
(兼) 金沢 次男
主査 鷲野谷 満
係員 藤田 一男
〃 小滝 健一
〃 高木 市郎
〃 我妻 タネ
〃 白坂セイ子
〃 佐藤ミツエ
〃 田子 ツナ
〃 矢吹美智枝
〃 湯座セキ子
〃 田子ふみ子
▽保育所長 芳賀 文雄
主任保母 佐藤佐代子
保母 十文字ハツ子
〃 瀬谷 珠子
〃 山形 恵子
調理員 関根サチ子
▽畜産センター所長 中井 光徳
係員 添田 剛弘
▽母子健康センター所長
(兼) 坂本 恵司
係員 窪木 美義
〃 赤坂 幸猪
〃 藤田 正美
▽産業福祉課長 坂本 恵司
主幹 蛭田 三夫
主幹 前田 守保
主査 鷲野谷武志
係員 赤坂 義郎
〃 関根 武捷
〃 金沢 寿枝
〃 国井 嘉康
〃(兼)窪木 美義
〃 大池 清敏
〃 鈴木三千男
〃 金沢 省道
〃 森 米子
〃 中川西幸子
〃 須藤 好
〃 関根 義栄
〃 斉藤 一郎
▽出納員主査 白坂 邦次
▽診療所長 増山 高
事務長主査 青戸 彦磨
主任看護婦 矢吹 芳子
看護婦 山形 カネ
係員 舟木 利次

7月7日は参議院議員通常選挙の投票日

選びぬけ 悔なく六年 まかす人!!

三年に一度行なわれ、議員定数の半数が改選されることになつている参議院議員通常選挙は、六月十三日に公布され七月七日に投票が行なわれます。

参議院は衆議院とともに国民の意思を代表する最高の議決機関であり、これを構成する議員を選ぶこの選挙は、極めて重要であります。

よく見、よく聞きよく考えて、尊い一票を棄権することなく投票しましょう。

○不在者投票

やむを得ない用務で投票当日（七月七日）投票所に行き投票できない方は、不在者投票の制度を活用しましょう。

不在者投票は前日（七月六日）までできます。

○代理投票

身体の故障等で字の書けない方は、当日投票所にきて係員に申出ますと、代筆していただけます。

遠慮なく申し出て下さい。

尚、不在者投票、代理投票等について、くわしくは選挙管理委員会におたずね下さい。

珠玉の人生に贈られた 勲六等瑞宝章

江竜田出身の芳賀六郎さん（七五）に春の叙勲で勲六等瑞宝章が贈られました。

芳賀六郎さんは、前渡瀬区長芳賀洋郎さんの祖父祐之助さんの末弟で、青年の頃志を立てて東京岩倉鉄道学校に学び、大正三年同校卒業とともに鉄道建設に生涯を捧げる決意をされました。

それから白棚鉄道の建設を手はじめに、朝鮮の京釜線鉄道の改良、国鉄東海道線淀川東灘鉄橋拡幅工事と複々線化湊川有馬電鉄の建設、九州、中国、関東、北海道など全国の各地鉄道工事を仕上げてこられました。

現在も山陽新幹線相生トンネル工事のため現地で活躍しておられ、「相生トンネルを立派に完成させ、山陽道に新幹線特急を走らせるのが楽しみ」といつて、若い技術者を指揮しながら、ヘルメット姿で活躍されているという。

鉄道建設五四年、七五才の現在も元気一ぱい第一線で働き続ける珠玉の人生に贈られた勲六等瑞宝章は、御本人御一門の栄誉はもとより、郷土鮫川村の誇りというべきでしよう。

村の仏教文化と中沢廃寺

国島義広

栄枯盛衰は世のならい、古は今の鮫川の地を何と云つたか知るよしもない。武家政治となり、赤坂氏の拠る所となるや、通称山の赤坂とよんだとも云う。此の名もなき山邑は古く奈良平安の文化を偲ばせるものがある。

一例を示せば、富田中沢の宝法寺及び、岩代観寺の古き文献を以て証するに、天正十四年（約四百年前）大閤検地の後明細書上帖によれば、宝法寺面として境内屋敷六畝十四歩、岩代観寺五畝十二歩、二ケ寺とも御縄除（災祖地）となつている。外にある田畑は年貢地であつた。

その後徳川の代となり、亨保十六年（約二百五十年前）棚倉藩内藤豊前守信重公の時徳川直轄領（本領八百万石の将軍領）となり、塙代官所の管する所となつた。

安永年間（約二百年前）まで二ケ寺ともあつた事は古文状により明かである。その後、天台宗の同宗同壇徒故に合寺して宝法寺となつたと伝いられる。（古老言）

それが天明の飢饉に部落民残らず餓死無人の寒村と化した（伝うるに寛政の頃まで約五十年）

故に堂宇も腐朽倒壊しついに廃寺となつた。現在は田畑山林の寺の財産は全部荒れて国有地となり、明治の代となつて民間に払下げて個人所有となつている。

現在は境内の一部約二畝余の屋敷は中沢坪の共有地として白井邦光外十九名が管理している。

その隅に、キヤラ大樹のみ残り昔の名残りをとどむ。当時の棟札は朽ちてよくわからないが、暦応十四××とかすかによめる。これは北朝年号かと思う。

仏像歓喜天は当時の名仏師の作と思われるも密教天台の宗羽黒山末流とあるにより見れば出羽三山の山伏の修行道場となつたのではないか。近くに行屋と称する地名あり、今金沢太一氏宅地にして古い昔の井戸はそのまゝ使用す。

数百年の樹令の老杉あり、国有林故に伐られて伐口のみ残る。霊峯高田山の麓より湧き出る清水にて斉戒沐浴して、山野に起伏し行を修めたであろう。尚筆者が数年前寺跡の前路傍より凹石の中より古銭鐚銭数枚を拾つた事がある。

その凹石はみだらせに用いた石と思う。この盃石は近年村道を開くため取除かれて、今はないが宝法寺入口にあつたこれは皆当時の寺院と何か繋がりがあると思う。尚その周辺に壇合地、経櫃、袈裟石、弘法落山等皆当時の仏教文化時代を偲ばせるものがある。

因に東光寺の開基は建武四年とあり（寺過去帖より）この寺も文献の明かにする事約三百年（開山以来二回の火災あり）と伝う。古文状焼失し、古く証するものなし。歴代の僧侶の碑から見て、六百年を証すにかたくない。境内に数百年の老杉の伐口直経四間あり周辺より須恵器、土師器の出土より見れば開基大同説もまんざら出鱈目でもないらしい。

おねがいの声 (14)

機構改革のねらい

村長 石田卯子八

わが村の事務機構は、昭和三十八年に定めた四課一室制でやつてきましたが、既に五年にもなり、内外の情勢も大きく変つてきましたのでこの際事務機構の改革を行うことにしました。

この改革のねらいとするところは、従来のタテ割式業務別組織を改善し、激増する事務量の能率的な処理に対処しながら、住民へのサービスを徹底させようとするものであります。

タテ割の業務組織というのは、これまでのほとんどすべての官庁や諸公庁などが採用してきた制度です。

命令系統が簡明で、責任体制もはつきりしている点では、すぐれていますが、日をおつて増してくる事務量の増大や、複雑困難な質的変化には、対処しきれない事態になつてきました。

即ちタテ割方式では、人に仕事が密着しているから、事務が私有化され、その係がいなければ他人にはわからず新しい事務が増すたびに絶えず人を増さなければなりません

また係の担当する仕事には繁閑があつても、職員のもつ事務処理の能力を機動的に使うことができないからムダが多く、セクショナリズムにおちいりやすいので、サービスの低下は免れません。

このような欠点を是正するために考えられたのが、ヨコ割機能的組織であります。

この制度は人に仕事が密着していく弊を改め、仕事を人に配分して処理する方式であります。

ヨコに広く事務を掌握して計画、判断する部門と、作業部門を別け、職員を機能的に組織し、これを機動的に活用して事務能率をあげようとする方式です。

もちろんタテ割組織の特長はこれを保持しながら、横に広い機能的な事務処理によつて、適正、迅速しかも高度の住民サービスをあげていこうとするのがねらいです。

それで具体的には、この際従来の四課制を改めて二課制とし、課に課長、主幹、主査をおくことにしました。

主幹、主査はこんどの機構改革の中核となるもので、ここでそのブロックの事務を広く掌握し、適時適切な判断のもとに、所属職員とともに機能的、且つ機動的に仕事をさばいていくことを期待するものです。

そのためには、直接住民に接する窓口の改善が必要となり、各課長や出先機関に対する権限の委譲も巾を拡げる必要があります。

このようなねらいで発足する新しい機構が、真にその目的を達し得るか否かの鍵は、結局はこの機構を構成する人の問題、すなわち職員の理解と努力に在ることは申すまでもありません。

なおこんどの機構改革が期待する機能を十分発揮するまでには、ある程度の時間を必要としますが、住民皆様の理解ある御協力をおねがいして止まない次第であります。

おめでた

官代 前田 純一父孝 徳
西野内 関根 英子〃 隆
五月
青生野 吉成 昭司父義 郎
官沢 矢吹 元子〃光 雄
茅 藤田 操〃 清
余所内 関根由美子〃功 男
沼野沢 本郷 光二〃良 光
大塩 矢吹五月生〃一 男
前塩倉 増子紀美枝〃久 美
中沢 長久保陽二〃利 生

おくやみ

後田中 須藤寅之助74 寅 男
荻之沢 関根 シゲ54 苗 作
火打石 佐藤 信義54 キ マク
青生野 土手内万吉50 ハ
青生野 平久江ヨシ77 三 郎
蕨ノ草 矢吹 ユヲ69 春 義
六月
酒垂 石井 定80 半 次

議会だより

第六回議会臨時会

五月二十八日に招集され次の五件の議案が上程されそれぞれ原案どおり可決されました

◉議案第二十二号　鮫川村税条例の一部を改正する条例

◉議案第二十三号　鮫川村課設置条例の一部を改正する条例

従来の四課制が総務課、産業福祉課の二課制に改められました。

◉議案第二十四号　鮫川村職員定数条例の一部を改正する条例

近年設置された母子健康センター、畜産センター、保育所、学校給食センターなどの職員定数が確保されることになりました。

◉議案第二十五号　鮫川村立小学校及び中学校条例の一部を改正する条例

鮫小戸草分校が新築されたのにともない位置の変更がありました。

◉議案第二十六号　昭和四十三年度鮫川村一般会計補正予算

巡回母子保健指導車購入のための負担金と、保健指導事業費として六十六万五千円が予備費より充当されました。



13番土手内議員が病気のため急逝された直後の村議会に、議席には生花が飾られ芳賀経哉議員が追悼演説を行ないました。

農薬による事故をなくしましょう

農作物を病虫害から守るために、多数の農薬が使用されていますが、これら農薬は、人畜に強い毒性をもつものが多数あります。毎年使用している馴れから、農薬の取扱いを安易に考え、不始末による不幸な犠牲者が、毎年出ております。次のことに注意して農薬事故をなくしましょう。

○撒布作業になれてくると、油断して取扱いが粗雑になりがちですから注意すること。

○作業中は農薬が体にかからないように注意し、散布後は顔、手足などの露出部をよく洗うこと。

○毒性のある農薬は、盗難や紛失を防ぐため、保管場所に鍵をかけること、マラソン乳剤、スタム乳剤等、劇薬毒薬でない農薬も、誤飲による死亡事故が発生しているので、特に幼児の手の届くところや食料品と間違いやすいところには保管しないこと。また使用後の空ビンの処理もよく注意すること。

○パラチオンなどの有機燐製剤は、所定の手続きにより、団体で使用し、個人では、使うことも、持っていることも禁止されています。

◎農薬危害防止運動期間

五月十五日～六月三十日

郵便番号のお知らせとおねがい!!

御家庭のみなさまへ

◎七月一日からは郵便番号を◎

七月一日から郵便をお出しになるときは、郵便番号を書いていただくことになりました。

◉郵便番号簿とは◉

郵便番号は、郵便局で郵便を配達する地域ごとにきめた番号です。

その郵便番号を収録した家庭用の郵便番号簿はすでにみなさんのご家庭に届かれたと思います。

もし届いていないときは郵便局までご連絡下さい。

◉郵便物のどこに書くのか◉

郵便物のあて名を書くところの右上部に書いてください

私製はがきや封筒の右上部に赤色のわくが印刷されているものが市販されていますが、このわくは郵便番号を記入するためのわくなのです。

わくのないはがきや、封筒をご使用になるときは、そのまま右上部に番号をお書きください。

七月からは郵便局で売り出す官製はがきなどには、このわくが印刷されております。

郵便番号のくわしい書き方はお配りした番号簿をごらんください。

◉まずご自分の郵便番号を◉

鮫川村の郵便番号は「九七八一〇四」です。

おたがいにご自分の郵便番号を差出人住所のところに書いておけば、相手の方が返事を出されるときに便利です。

まず、ご自分の郵便番号を覚えていただき、郵便を出されるときは差出人住所のところに必ず書くことが大切です。

また住所録やメモ帖などにも抜き書きしておくと便利です。

◉筆記用具は◉

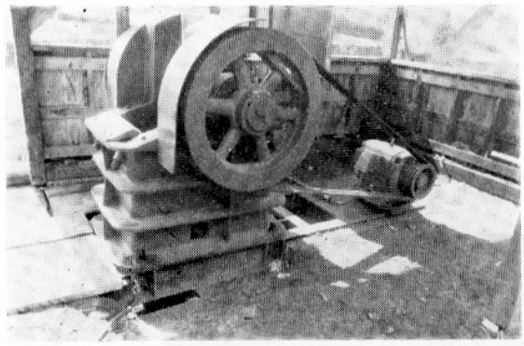
ペン、万年筆、ボールペンなど、いつも郵便のあて名を書くときに、お使いになるものなら何でもかまいません。色は青か黒で書いてください

◉郵便番号を書き誤つたときは◉

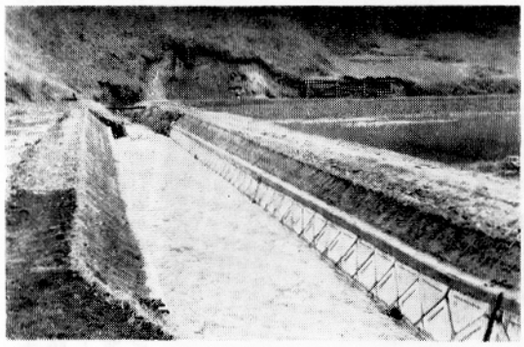
誤つた郵便番号の上に、一本線などを引いて消し、その上部に正しい郵便番号を書いてください。



落成式もすんだ戸草分校新校舎の全景



村の採石場現場に新しいクラッシャーが設置され、これから一段と偉力を発揮することになりました。



昨年の集中豪雨で被害をうけた青生野地内に農地災害復旧工事が行なわれ、水路も農道橋も近代化されました。

統計だより

七月に二つの統計調査実施

七月一日現在で、商業統計調査と就業構造基本調査が実施されます。

◇商業統計調査

この調査は、商業を営む全国の商店の分布状況や、商業活動の実態を明らかにし、中央および地方公共団体の行政施策に役立てるとともに、関係業界の経営指標として利用できるような統計資料を作成するために二年毎に行われます。

◇就業構造基本調査

この調査は、国内及び県内人口の就業状態を明らかにして、国及び県の経済計画をはじめ雇用失業対策など各種施策のための基礎資料を作ることも目的として行われ、昭和四十年国勢調査区の中から調査区を指定し、今年は三調査区が指定されました。

言うまでもなく統計調査は統計法により、税務資料に利用することは固く禁じられ、又個人の秘密に関する事項についても固く守られ、調べたことがらは統計をつくるためにだけ使われるものですから調査員が巡回し調査に当りますのでご協力をお願いします

（調査員及び調査区域）

商業統計調査

一調査区、調査員　水野芳光（大字赤坂西野、西山、赤坂中野の一部、赤坂東野の一部）

二調査区、調査員　宗田貞治（大字赤坂中野の一部、赤坂東野、石井草）

三調査区、調査員　松本好雄（大字富田、渡瀬、青生野）

就業構造基本調査

国指定

調査員、長井久男（青生野七～十四番地）

県指定

調査員　水野芳光（大塩、官沢、薄ヶ久保、西野前田）

調査員、蛭田武夫（滝ノ下蕨ノ草、草木、大竹）

陸・海・空・自衛官を募集します

◎自衛官は、国の平和と独立を守る大きな任務をもっています。

自衛官は規律正しい団体生活のうちに広い知識と高い技術を身につけ、退職後も一〇〇％有利な条件で就職ができ立派な社会人となっています

◎受験資格

中卒以上の学力があり十八才以上、二十五才未満の男子で身体健全なもの

◎志願の手続

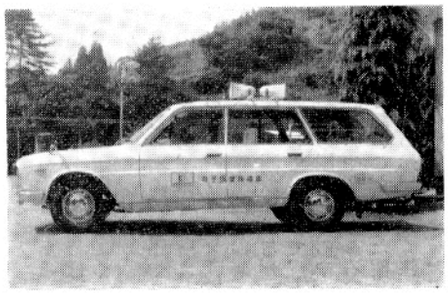
いつでも志願ができます。

志願については村役場の係にお気軽にご相談下さい。

村に巡回母子保健指導車鮫川村に配置

巡回母子保健指導車は、社団法人全国母子健康センター連合会が、日本自転車振興会からの補助金と、母子健康センター設置市町村の負担金をもとに購入し、これを全国の必要市町村に配置するものです。

このたびわが村にも配車されましたが、県内ではわが村を含めて四台です。今後の母子保健活動に大きな期待がかけられております。



配車された母子保健指導車

富田老友会の総会

富田老友会では去る五月三日の憲法記念日に総会を開き創立以来の役員であつた青戸倉之進、坂本長治、赤坂セツの各氏が退き、新年度役員は次の各氏にきまつた。

会長　青戸　実
副会長　松本健治、片野タミ
会計　矢吹兼光
方部役員
赤坂　信久（彦次郎）
坂本　キノ（反田）

国民年金だより

七月は国民年金保険料二期（七、八、九月分）の納付月です、忘れず、おくれず完納下さるようお願いします。

国民年金の保険料は、納付書により納税組合長が一括して指定代理金融機関（農協窓口）に納付することになつております。若し納付書を紛失した場合は役場の係に申し出て下さい。

◉老後の保障、国民年金はあなた自身のものです。

須藤　義雄（鍬木田）
坂本　キヨ（中　沢）

尚、毎年行つてきたことであるが、今年も会員一人、ぞうきん二枚以上持ちより、合計一三〇枚を富田小学校に寄附をして、学校当局に喜ばれている。

また当日は、本年度事業として、明治百年記念植樹、視察旅行、講演会等をきめ、午後から福祉事務所次長芳賀邦夫氏及び棚倉町坂田氏の有益な講演が行なわれ四十余名の参会者を感激させた。

稲作情報の御利用を

4.6米作り運動推進事項の一つとして、毎さじ月2日と17日の二回、「稲作情報」が発行されます。天候の推移と、稲生育状況に応じて、適切な技術対策を農家に知つて頂くためで、中通り版と郡内版があります。この情報は農業改良普及所が、村内の改良推進員を通じて、農事組合長に配布されます。

正しいガスの使い方

最近プロパンガスは全家庭で使用されるようになりましたが誤つた取扱いをしたために火災などの事故も増加しています。取り扱いや管理は正しい知識で実行し事故の防止をいたしましょう。

▼点火前に、まず確かめてください。
・臭気がないか（ガス漏れを確かめる。）
・周囲にふきんやマッチや油などがないか。
・ゴム管がつぶれてないかむりに曲折などないか。

▼正しい点火の取扱いをしてください。
・まずマッチに火をつけてから器具コツクを開き点火する。
・完全に全部点火したか確かめる。
・炎が安定した紫色になつているか注意し適正な空気の供給を確かめる。

▼使用中は、つぎのことに注意してください。
・不快なにおいがしたり鼻目が刺激され軽い頭痛がするばあいや、なべ、やかんの底などに黒いすすがつくのは、不完全燃焼です。室の換気またはガス器具の掃除を、もういちどする必要があります
・ガス器具の外側や器具コツクが、手でさわれないくらい熱くなつていませんか。こういうときは器具の不良のおそれがありますので、修理してもらいましょう。
・完全に全部点火したか確かめる。

▼使つた後や使わないときでも注意が必要です。
・器具コツクだけでなく、部屋のホースコツクや元コツクもしめてください
・故障やガス切れのときはゴムキヤプをはめてください。
・器具は、ときどき掃除してください。

▼特に注意を要することがら
・プロパンガスは空気より重いため、漏れたガスは低い所にたまりやすいので、ふろばのかまど付近などでは漏れたガスは逃げにくく、点火にさいして着火し爆発事故を起こすおそれがあります。

消防団幹部大会開かる

第二十一回福島県消防協会東白川支部総会（幹部大会）は去る六月九日棚倉小学校講堂で盛大に行なわれましたが、この席上、晴れの表彰の栄誉に浴した団員は次のとおりです。

▽福島県知事表彰
・永年勤続章（二十五年以上）
分団長　高野　一己
分団長　岡部　文雄
団員　鈴木　春吉

▽福島県消防協会長表彰
優良分団　第七分団
・功労章団長　前田　照
・精勤章　分団長芳賀文雄
〃　分団長斉藤平四
・永年勤続章（二十年以上）
分団長　斉藤　平四
副分団長　小松　富次
班長　水野　正広
〃　鈴木　勲
〃　湯座　康成
副班長　遠藤　幹雄
〃　高坂　昭
団員　湯座　勤
〃　緑川　昌美
〃　高木　長雄
〃　津田　光雄
〃　山形　元
・永年勤続退職者感謝状（二十年以上）
元団長　円井彦兵衛
元分団長　小松　誠
元副分団長　小松源方
元分団長　増子　義兄
元分団長　小松　一郎
元副分団長　蛭田信久
元部長　国井鬼子治
元班長　遠藤慎一郎
元団員　根本　長一
元分団長　芳賀　喜一
元班長　蛭田　源市
元班長　矢吹　伝
元部長　宗田　修一

▽福島県東白川事務長表彰
・一般功労者（団体）
岩野草部落
・優良分団　第七分団
・優良団員　班長　石井利雄
〃　関根一兄
〃　藤田好幸
〃　生田目富夫
〃　吉成義男
副班長　円井七之助
団員　藤田隆千代
・永年勤続団員（十五年以上）
副分団長　北条　久弥
〃　須藤　照司
班長　阿久津一一
〃　松本　源一
副班長　蛭田　昭男
〃　青戸　芳夫
団員　小滝　健一
〃　水野　成男
〃　矢吹　正
〃　高木　勝美
〃　高坂　久男
〃　矢吹　栄治
〃　早川　光久
団員　蛭田　長治
〃　岡部　豊
国島　紀元
団員　栗原　一郎
・一般感謝状（個人）
藤田　実

住民の窓

花のにぎわいもいつのまにか遠のき、農家の皆さんには何かと忙しい時節となつて参りました。

田植が終り、これからは、又養蚕、葉たばこ、麦刈など多忙な毎日を過ごすことになりますので、健康に注意して農作業に励んでいただきたいと思います。

次のとおり努力目標を掲げました。明るく、住みよい環境を築くため皆さんの御協力をお願い致します。

努力目標

◉蚊やハエを撲滅し、健康で明るい家庭を築きましょう
◉伝染病が発生しやすい季節です。未然に防止するようお互に心がけましょう!!
◉梅雨期に入ります、食べものに気をつけ、食中毒を追放しましょう!!
◉一家団らん、計画的な「家庭の日」を設けましょう。
◉犬の放し飼いはやめましょう。（登録して、必ず予防接種を受けて下さい）

小企業者記帳指導協議会の利用を

白河税務署管内に、白河小企業者記帳指導協議会が設立され、小企業の営業者全員を対象として、記帳指導と企業経営の指導に応ずることになりましたので、気軽に相談して下さい。協議会は、白河税務署県事務所、商工会議所、商工会、青色申告会、税理士会で構成されていますので、利用希望者は構成団体に連絡して下さい。不明な点は左にお問合わせ下さい。

白河市横町九八白河税務署内

× × ×

みんなの願い、交通安全を祈願して、鮫川運送社長芳賀喜一さんから、カーブミラー二基（時価十万八千円）がこのほど村に寄附されました。



寄附されたカーブミラー

このカーブミラーは本村の最も交通量の多い、危険箇所である新宿地内三叉路と広畑地内三叉路に立てられ運転者と歩行者から感謝されています